



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp**【業界初】事業者の漏水事故防止対策を後押しする
「漏水事故再発防止費用補償特約」の提供を開始**

2024年1月12日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、事業者向け新種保険「施設所有（管理）者賠償責任保険」において、漏水事故防止対策に関する費用を補償する「漏水事故再発防止費用補償特約」（以下、本特約）を2024年1月から提供します。

1. 背景

昨今、施設の老朽化に伴い水道管の漏水を原因とする事故が多発しています。厚生労働省によると、法定耐用年数（40年）を超えた水道管路の割合は年々上昇しており2020年度には20.6%に達しています。一方、2020年度の管路更新率^{※1}は僅か0.65%にとどまっており、今後、水道管路の老朽化が進行し、それによる漏水事故の増加が想定されます。

そこで、当社は事業者の漏水事故の再発防止対策を後押しするため、水道管の点検費用等を補償する本特約を提供することとしました。

※1 当該年度に更新（老朽化した管路の交換等の措置を行うこと）した管路延長の割合を表す指標です。

管路更新率の年度別推移



（注）厚生労働省「令和4年度全国水道関係担当者会議」より抜粋

2. 特約の概要

| | |
|--------|--|
| 特約名 | 漏水事故再発防止費用補償特約 |
| 対象商品 | 施設所有（管理）者賠償責任保険 （漏水補償特約（施設用）もしくは漏水補償特約（マンション共用部分用）付帯） |
| 募集開始日 | 2024年1月12日 |
| 補償内容 | 漏水事故により事業者に損害賠償責任が発生し、下記の再発防止費用を負担することによって被る損害について、1事故・保険期間中につき20万円 ^{※2} を限度に補償 ① 事故原因調査以外の点検費用 ② 漏水検知センサーの取得に関わる費用 ③ その他漏水事故再発防止のために必要かつ有益と認められる費用 ※2 基本補償の支払限度額（財物損壊）が20万円未満の場合はその金額とします。 |
| 補償事例 | ・配管の老朽化が原因で漏水事故が発生。他の配管も同様に老朽化が進んでいると考え、建物内の他の配管について点検を行った。 ・漏水事故発生後、事故の再発防止を目的に、建物内の水回り箇所に漏水検知センサーを設置した。 |
| 保険料割増率 | 20%（基本保険料（対人・対物賠償）） |

3. 漏水検知センサーについて

本特約の提供に合わせ、当社は株式会社イチネン TASC0 と協業し、同社が販売する漏水検知センサー「リークアラート X」を当社代理店から事業者で紹介する取組みも開始します。「リークアラート X」は、低コストかつ簡易的に設置し水漏れを検知できる漏水検知センサーであり、DXソリューションパッケージにも採用しています。

(ご参考) リークアラート X について

リークアラート X は、水回り箇所に簡易設置し水漏れが起きた際に警告音やメール (Wi-Fi 機能) で知らせるセンサーです。水漏れを早期に発見し、その後のスムーズな対応につなげ、階下への漏水事故の未然防止、損害極小化が可能になります。

<センサー>



<設置イメージ>



4. 今後の展開

ソリューション提供事業者と幅広く提携を進め、「DX ソリューションパッケージ」のラインナップを拡充することで、CSV×DX (シーエスブイバイディーエックス) ※3 を実現し、社会・地域課題の解決に貢献していきます。

※3 CSV・・・Creating Shared Value (社会との共通価値の創造)

DX・・・Digital Transformation (データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること)

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX を通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組みます。

